

小坂小学校 校歌

作詞 福田夕咲
作曲 山下笛朗

ほのほのと やみのよる—さ—え あさむ—つ—のあけの
ひかりにまごうちょう はしのほとりのみなぞこ—
にひそめるたま—のものが—た—り

一、ほのぼのと やみの夜さえ

朝六の明けの光に

まごうちょう

橋のほとりの 水底に

ひそめる玉の物語

二、いざともに 心をみがき

身をきたえ 学びの道を

きわめつつ

朝六橋のなつかしく

文にもしるき わが里よ

小坂小学校 校章



明治時代（年数不詳）に作成。三種の神器（やたの鏡、草薙の剣、八坂の勾玉）を象って、鏡の中に小坂の「小」を剣と勾玉で表し、さらにこれを両側から月桂樹で囲み、下部を結んでいる。昭和11年に「三種の神器を全て象ってはおそれ多い」として、鏡の部分だけ桜に置き換えられた。